AMIC（高度部材イノベーションセンター）の中小企業支援機能強化

田中　智也　議員
（新政みえ／四日市市選出）

問　ものづくり中小企業の支援について、現行の②AMICの持つ機能を生かし、より効果の高い成果をあげていくためには、これまでの知識集約、研究開発集約型の産業構造転換のための拠点としての機能に加え、ものづくり中小企業の支援拠点としての機能を強化する必要があると思います。

県の考えをお聞かせください。

答　幅広い産業に活用できる「高度部材」を生かしAMICを最大限活用すべきと認識しています。今後、産学官連携による共同研究の促進、グローバル化に対応できる人材を獲得するための仕組みづくり、より効果的な情報発信などを進めることにより、中小企業の新たな技術連携や共同研究、販路開拓につながるよう取り組んでいきます。

AMIC（高度部材イノベーションセンター）

その他の質問事項
○養護教諭の配置基準　ほか

財源確保策としての県有財産の利活用

山本　勝　議員
（自民みらい／桑名市・桑名郡選出）

問　知事は、③財政調整基金残高の大幅な減少により、平成24年度の財政状況は一層深刻な状況にあるとの認識から、平成24年度の予算編成にあたっては、基金の有効活用や県有財産の積極的な売却など、あらゆる財源確保に取り組む方針を示されました。平成24年度当初予算において予定している三重県土地開発基金の有効活用額と県有財産利活用額を伺います。

答　平成24年度当初予算の編成にあたっては、あらゆる財源確保に取り組んでおり、三重県土地開発基金についても最大限活用したいと考えています。

県有財産については、インターネットオークションの活用による積極的な売却や貸付などの手法も検討し、概ね1億円の収入を目標としています。

その他の質問事項
○長良川河口堰に対する知事の所見　ほか

学校における避難所運営の備え

日沖　正信　議員
（新政みえ／いなべ市・員弁郡選出）

問　東日本大震災発生後に出された国の方針により、学校は災害発生時の重要施設としてより明確に位置づけられましたが、実際は避難所としての備えが十分に整っておらず早急な対応が必要です。避難所としての施設強化や備品の整備とともに、その場でとるべき行動を具体的に示した「避難所運営マニュアル」の学校版を作成し、各学校の対応を支援すべきです。

答　適切な避難所運営のため、平成24年度中に「避難所運営マニュアル策定指針」の改定を行うとともに、学校関係者をはじめとした避難所運営組織の構成員を対象に防災リーダーを育成し、避難所運営の体制づくりを支援します。

今後も学校を避難所とする場合の運営について、教育委員会と連携した取り組みを進めます。

その他の質問事項
○未来を築く子どもを育む取り組み　ほか

県民の生命と健康、生活を守る各種基金事業の継続を

中川　康洋　議員
（公明党／四日市市選出）

問　国の制度に基づく医療や介護の充実、子育て支援強化などに対する基金事業の多くが今年度限りで終了しますが、市町や多くの関係者から継続が求められています。来年度以降の継続を国に対して強く働きかけるべきと考えます。

答　国へは予算編成に関する提言活動等あらゆる機会を通じて、平成24年度以降の継続や制度の確立、恒久的な財源確保を要望してきていますが、今後も引き続き積極的に要望していきます。

伊勢総合庁舎整備工事

中西　勇　議員
（みんなの党／松阪市選出）

問　県は三重県建築基準条例第6条違反であることを計画時点から認識していたのではないですか。対策工事ではなく隣接地買収の選択による支出は県の法定義務を越えた過大対応であり、税金の不適切使用に当たると考えます。

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。